

●熊本県「古閑の虎舞」

坂梨子ども会

「とらまいのおもいで」 小学1年生 古閑美雛【壁塗り・扇子（玉取・お囃子）】

わたしは、とうきょうにいきました。かべぬりとせんすのまいをしました。すこしだけむずかしかったけど、いままでけがをしながらなきながら、れんしゅうしてきたからこそ、すこしだけじょうずになれました。がんばったからこそ、たのしみがまっていました。

小学1年生 吉田早希【壁塗り・扇子（玉取・お囃子）】

いったときはどきどきしました。

たのしかったです。

じょうずにできたのでうれしかったです。

また行って、やりたいです。

かべぬりをがんばりました。

たまとりもがんばりました。

れんしゅうをしてじょうずになったのでうれしかったです。

はじめてだったのでじょうずにできたのでうれしかったです。

せんすのふるたいみんぐがむずかしかったです。

かべぬりはなんかいやったかをおぼえないといけないのでむずかしかったです。

たのしかったのでまたいきたいです。

『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り』にさんかして思ったこと 小学2年生 坂梨綾香【壁塗り・扇子（玉取・お囃子）】

わたしは、とうきょうにいけてよかったです。かべぬりをやっていたさいごのときにまちがえてしまったので「あー」と思いました。でもたくさんのはくしゅがきこえてきて、おきゃくさんにすごいと思っていただいて、とてもうれしかったです。

わたしは、しっぱいしたけど、いままでたくさんれんしゅうしてきたせいかをだせてうれしかったです。そして大せいこうでした。

ぜんぶとらまいをおしえてくれたじょうきゅう生とはま先生ややくいんさんのおかげでした。

ほかのかたたちのえんぎもとてもすごかったです。そしてとらまいぶでよかったと思いました。

『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り』 小学2年生 園田太郎【壁塗り・お膳舞・旗（地舞・玉取り）】

ぼくは、かべぬりとおぜんまいに出ました。リハーサルでかわったことがあったので、

本番にできるかドキドキしました。おぜんをおとさないか、きんちょうしました。今まではっぴょうとちがいました。大ぜいのおきゃくさんがいたと思いますが、ぜんぜん見えませんでした。小さくえんぎしたんで、大きくしたらよかったです。それと、はたをもっている時、大きなかけ声が出せませんでした。でも、さい後ははく手をたくさんいただいでうれしかったです。ちばのおじいちゃんとおばあちゃんも見に来てくれました。

とらまいがおわってから、南田島の足おどりやチャンココを見ました。たたきながら回しているところが上手でした。

みんなで東京に行ってえんぎをはっぴょうできて、とてもよかったです。9月馬場宮でお祭りがあるのでまたがんばります。

小学3年生 江島颯 【壁塗り・お膳舞・旗（地舞・玉取り）】

大きなぶたいでかべぬりとおぜんまいとはたもちをしてとっても楽しかったです。また東京でとらまいをやりたいです。かべぬりはかけごえとおどりをあわせてやるのでとてもりずむにのっておどって楽しかったです。おぜんまいはまわす時にちょっと早くスピードをあげてやっていました。だからやりやすかったです。たまとりはたまの人とししの人に合せてかけごえをあげて楽しかったけどちょっとはずかしかったです。

「ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018」 小学4年生 高橋幸花 【壁塗り・扇子（玉取・お囃子）】

8月20日に東京で、『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』という祭りがありました。わたしは、東京の会場についたらとてもときどきして、リハーサルや着がえ、ハッピー、着物に着がえて着物の人は化粧をしました。そして、本番にのぞみました。

本番の時の開会式いろんなチームが来ていました。いろんな衣裳を着ていました。わたしは、本番の時の壁塗りをとてもたくさんの方が見に来てくれていました。壁塗りをおどっている時カメラで写真をとる人がたくさんいました。お膳舞いは、わたしはでていなかったのでおうえんするだけでした。地舞いもわたしは、でていませでした。玉とりでは、後でせんすや旗もちしていました。わたしは、せんすをしていました。前では、玉とりのえんぎをしていました。玉とりのえんぎがおわったらインタビューがありました。

わたしは、また『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』にまた行きたいと思いました。わたしは、とらまいをせいこうできてとってもうれしかったです。

「東京での虎舞」 小学4年生 三森慎之助【壁塗り・お膳舞・旗（地舞・玉取り）】

ぼくは、東京の日本青年館ホールでの、虎舞を坂梨子ども会の仲間たちと、ひろうしました。

ぼくは、かべぬりと、おぜんまいと、たいこと、はた持ちをしました。

ステージに立ったときは、全体から、見わたされていました。もっと大きなえんぎをし

たいと思いました。

一番きんちょうしたのは、はたもちです。理由は、動かないように、いしきしなければいけないからです。

たいこは、地舞の最終を2回たたきました。大きな、音を出せました。

おぜんまいは、自分のいしきをしんじて、やったら、落とさずできました。

ぼくは、これからも、虎舞をつづけ、来月のばば八まんさいや、一の宮小学校で、見られます。大きなえんぎで、がんばりたいです。

「とらまい東京こうえん発表の感想」 小学4年生 柚上晴空【お膳舞・地舞】

東京こうえん楽しかったえんぎはおぜんまいです。わけはおきゃくさんからオーというこえがきこえたからです。

東京こうえんでむずかしかったところはしまいです。わけはまえの人といきがあわなかったからです。

東京こうえんできんちょうしたところはさいごのインタビューです。ぼくはあたっていないけどとてもはずかしかったです。

またいくためにいっしょうけんめいれんしゅうをしていきたいと思っています。

小学4年生 岩下龍真【壁塗り・お膳舞・旗（地舞・玉取り）】

『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』にいきました。

8月20日に東京にいきました。

ぼくたちのほかに7チームありました。

ぼくたちは、古閑の虎舞で壁塗り、お膳舞、地舞、玉とりをしました。

大宮神楽は、綾遊びをしていました。

野田雨乞笠おどりは、場ならし、三拍子、節を替え候、ささら、綾、おさめをしていました。

南田島の足踊りは、ヒョットコ踊り、足踊りをしていました。

そのあと休憩がおわって、またはじまった。

休憩のあとチャンココでそのつぎのは、インドの古典舞踊は、バラタナティヤムをしていました。

土場鹿子舞のあとは、石見神楽は、塵輪をして、おわったから、ビジネスホテルにとまりました。

東京にいくときは、ANAにのっていました。かえるときは、ANAのスターウォーズのひこうきでかえりました。ぼくは、ごはんのあじはあそのほうがうまいと思った。

小学4年生 佐伯実千留【唄（壁塗り）・お膳舞・地舞】

わたしは、最しょ東京という大舞台で発表するのでとても緊張していたので失敗すると

思っていました。

本番になったら緊張がとけて失敗することもなく上手にできたと思います。一番上手にできたと思うのは、おぜんまいです。なぜかと言うとお母さんが「おぜんまいをおとさずにそろっているから練習よりも上手にできてるよ」と言ってくれたからです。

「とらまいの東京えんしゅつ」 小学4年生 吉田深人【壁塗り・お膳舞・地舞】

ぼくは東京でとらまいをえんぎしました。練習とはちがってすごきんちょうしました。それでもぼくは、がんばりました。

本番前はすごきんちょうしていました、でもぼくはかべぬり、おぜんまい、じまい、をがんばりました。本番でえんぎした時は、心からがんばりました。じまいの時は練習の時よりもがんばり心からえんぎしました。また終わった時の達成感はとても「がんばったな」と感じました。なので次もがんばって行ってみたいです。

それからぼくは次のとらまいを楽しんでいました。なのでまたがんばりたいと思います。

「とらまいをして」 小学5年生 坂本詩野 【三味線（壁・膳）】

わたしは東京でとらまいをするとききびっくりしました。なぜかという、初めて東京に行くし、東京のぶたいだから人も多いただろうし、ぶたいの場所は、広いからです。

そして、東京に行きぶたいを見ると広がったから、とてもきんちょうしました。

本ばん前ぶたいをみると、いっぱい人がいたのでよけいきんちょうしました。でもわたしはがんばって、しゃみせんをひきました。そして、いい思い出になりました。

小学5年生 大塚彩花 【お膳舞・地舞】

私は、とらまいが初めてだったのでとてもドキドキしました。とても人も多かったので「まちがえるかも」などとてもきんちょうしました。でもとわくんやころちゃん「大丈夫だよ」や笑わせたりしてくれたので少しきんちょうがほぐれて良かったなあと思いました。だけど少しおぜんまいでずれていたのでもんねんでした。じまいは、ころちゃんにアドバイスなどを受けながらしっかりできたのでよかったです。さいごまで笑顔でがんばれてよかったです。おぜんまいも、さいごまであきらめない事とおぼんをおとさない事をできて良かったなあと思いました。じまいもちゃんと足を開く事、前の人にまどわされないようにする事をしっかりできて良かったなあと思いました。さいしょでさいごのいい思い出ができました。とてもたのしくとてもがんばれました。

「東京でのとらまい発表」 小学5年生 志賀叶和 【お膳舞・地舞】

ぼくは、二年間とらまいをしていませんでした。今年からとらまいに参加してみると、東京に行くという話をきいて、おどろきました。前に、とらまいをしていたころは、歌とおぜんまいをしていて、おぼんをにぎったまましていました。

毎週コーチにおそわり、8月に入ると、毎日練習をがんばりました。あそん里での発表で、家族やコーチに「よかったよ」と言われ自信が持てました。

当日の朝は、早起きをして、初めての飛行機に乗りどきどきわくわくしながら、東京に行きました。東京につくと、すぐに青年館ホールに行き、すぐリハーサルをして本番になりました。とらまいは2番目だったので、すぐでした。きんちょうしたけれど、一生けん命やって楽しくできました。とても良い夏休みのけいけんでした。

「ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018」 小学5年生 坂梨永遠 【お膳舞・地舞】

ぼくは、東京でいいえんぎをしたとおもいます。

夏休みまえから、れんしゅうをはじめて、さいしょは、おぜんをおとしたりしました。おうちの人にいろいろおしえてもらって、じょうずになりました。

大きなぶたいできんちょうもしながらもがんばってえんぎをしました。

お客さんにたくさんはくしゅをくれてうれしかったです。

「東京でとらまいひろう」 小学5年生 三森桜 【壁塗り・扇子（玉取り・お囃子）】

私は、とら舞を、東京の日本青年館ホールというところで、発表しました。

私は、東京にいったのも初めてだし、大ぶたいで、とらまいを発表するのも、初めてだし、飛行機も初めてだったので、いくときまってから、とてもわくわく、ドキドキしていました。

いよいよ東京で発表してとても、きんちょうしていて、他のグループを見ると何分も何分も重たい「しし」などを、かついでいる人もたくさんいました。

後から、出てくる人もいました。

何分もたいこや楽器などを、たたいている人もたくさんいました。

私は、その中でも、かべぬりと、せんすの、まいをしました。とてもきんちょうしたけど、最後までやりきることができました。

とても楽しかったです。

「とらまいをやってみて」 小学5年生 藤井晴乃 【お膳舞・地舞】

とらまいを東京でやってみてきんちょうしました。不安もありました。まちがえてしまったらどうしようや、ししの足があっていなかったらどうしよう。おぜんを落としてしまったらどうしようと思ったけど失敗なくてよかったです。帰ってきてみんなでビデオを見た後にお母さんが上手だったねとほめてくれたのでうれしかったです。

「感想」 小学5年生 市原琴心 【お膳舞・地舞】

わたしは、東京にとらまいをひろうしに行って、おぜんまい・じまいをしました。おぜ

んまいは、みんなが落とさずにできてうれしかったです。じまいは、みんなと動きを合わせることができたのではないかと思います。せが高いほうなので、うしろが多かったのですが、あやかちゃんという新しい仲間も入ってきて、久しぶりの前でじまいができました。わたしは、とらまいでやったことのない、玉取りなどにも挑戦していきたいと思います。とらまいは、一年生からやっていて、とても楽しいので、これからも続けたいと思っています。あんな大きなステージでとらまいをするということは、これからはないのではないかと思いますので、東京でひろうしたときのことをわすれずに、これから生かしていこうと思います。

小学6年生 田上千姫 【三味線（壁・膳）・扇子（玉取り・お囃子）】

『ぼくたち、私たちのニッポンの祭り2018』に参加して思ったことは、あまり多くの人にとらまいを見てもらう機会がないので、『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』で多くの人たちに、とらまいをみてもらったので、うれしかったです。またこういうことがあったら、また、たくさんの人たちにとらまいをみてほしいと思います。

「東京でのとらまいの感想」 小学6年生 古木瑠海 【笛（壁・膳）・地舞】

私は、東京でのとらまいで飛こうきとバスでは、あまりきんちょうをしていなかったけど東京について青年館ホールについてきんちょうしました。

本番になって私はまちがえたらどうしようと思ったけどふえはちょっとまちがえてとまったところがあったけど上手にひけたのでよかったです。

じまいでは、えみちゃんがまえできんちょうしたけどみんな足などが全部あっていいじまいができてよかったです。

いいとらまいをみんなできてよかったです。

小学6年生 釣井愛心【唄（壁塗り）・お膳舞・地舞】

私は東京のぶたいにでて思ったことは、れんしゅうよりもきれいにできたことです。

いつもは、バラバラだったけど東京のぶたいでは、きれいにそろえることができました。

ほかのえんぶもきれいにおどっていて「さすがでんとうだな」と思いました。

インドのおどりもみたことがなかったからためになりました。

そして私は、もっととらまいのことをよくしてもらえるように私もがんばりたいです。

私は東京というぶたいにたてて本当によかったです。

「とらまいの思いで」 小学6年生 古閑大樹 【鉦（壁・膳）・地舞・玉取り】

ぼくは、『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』にでました。ぼくは、まさかこんな、大きな祭にでるなんて、おもえませんでした。でも、とらまいが、東京にはばたくときいたときは、おどろきました。

本ばんになると、きんちょうして、あしが、ちょっとふるえていました。ぼくは、かねとじまいとたまとりです。かねのとき、リズムがわからなくてあせりました。

じまいのときは、手がすべってしまって、「あっ、やべ!!」と思いました。

たまとりのときも、手がすべってしまってししのあたまが、おちてしまったけど、あとはしっかりできてよかったです。はたもちの人の声の、「それ、それ、それぞれ」というこれがきこえました。

インタビューのときぼくは、なにもいえませんでした。

「とらまいをひろうして」 小学6年生 坂梨恵海 【笛（壁・膳）・地舞】

私は東京にとらまいのひろうをしに行き、今までひろうしてきたあそびなどとは全然ちがいで、見てくれる方の人数やステージの準備の方法など、何もかもがいつもとちがいで、私は幕が上がっただけでとてもきんちょうしてしまいました。でも、ガチガチにはならなかったのが良かったです。

私はきんちょうしてしまっただけで、笑顔を忘れずにとらまいをひろうすることが出来たので良かったです。特に私はじまいを頑張りました。なぜなら、じまいは練習の時から頭をふるタイミングを覚えることが出来ていなくて、頭の動きを合わせることが出来なかったからです。本番でも、合ったところと合わなかったところがあり、完ぺきに合わせることが出来なかったのが残念でした。でも、まだとらまいをひろうすることはあるので、今回の東京での反省点を課題点にして、次にとらまいをひろうする時はもっといい舞台に出来るようにしたいです。そして、私の一番の課題のじまいを今よりも上手に出来るように頑張りたいです。

小学6年生 江島蓮斗 【大太鼓（壁・膳・地舞）・玉取り】

この『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』に参加してハラハラドキドキしたけれどがんばって演技できました。

ぼくの演技したいこと玉とりはタイミングとチームワークがむずかしくて玉とりが約2カ月、たいこに約1週間かかりました。

たいこは、ほかのがっきの小たいこ、かね、しゃみ線、ふえ、歌の中心の音になり、またこのがっきや歌の支えにもなります。なのでたいこはものすごく努力をしないとイケません。

玉とりも虎の中心になり、また支えにもなります。また、枝のふりつけもむずかしいので長く練習しなくてはイケません。

ぼくはこの『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』に参加して本当に楽しかったです。

小学6年生 江藤慧 【小太鼓（壁・膳）・地舞・玉取り】

六年、五年は、3、4年してるけど、一、二、三年生は、1、2年しかやってないから、大舞台でやるのは、きんちょうしたと思うけど、大人数の前で、他の団体に劣らない演技をみんなで、全国に流せたから、良かった。

坂梨でも小さな舞台でしか、やったことしかなかったから、東京の大きな舞台でとらまいをするってなってから、なんで自分達のこのとらまいが選ばれたの？って思って、選ばれたのなら、自分達の最高の演技を見せようって思って、力を入れて、練習して、東京で最高の演技が出来たので、よかった。

みんな、うきうきしていて、大丈夫か？と思ったけど、本番になると、真剣に演技をしていたので、すごいと思った。切りかえが、きっちり出来ているのは、すごい。

最初は、動きも、合ってなかったけど、練習して、合うようにがんばって、去年、参加してない人も、居たから、6年が、教えたりして、合わさって行って、上手になって行って、よかったと思った。なによりも、協力して、作り上げたものを、全国の人に、見てもらってることがうれしい。

このとらまいをずっと続けてくれた、人々や教えてくださった、先生やコーチに感謝。

「私の立場、参加して思ったこと」 小学6年生 坂本悠衣 【笛（壁・膳）・地舞・大太鼓（玉取り）】

私がこの『ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018』に参加して思ったことは2つあります。1つ目は、最初から最後まで失敗せずに笛をやったり、ししがしらの中で上手く足を動かせるか心配でした。けど今までがんばって練習してきたことを思い出すと自然に笑顔がでてきて、今までで一番いいえんぶができました。とてもうれしくて、心の中では、笑ったり、泣いたりのをくり返しでした。

2つ目は、私の部長としての立場です。

私は、東京行きが決まり、みんなと練習をした一日目、リーダー（部長）を決めることになりました。私と男子2人が立候補しましたが、すいせんや、話し合いの結果、私になりました。決まった時は、とてもうれしかったです。

ですが、練習中、みんなが言う事を聞いていなかったり、あばれたりして東京でしっかりできるのか不安でした。でもみんな本番前には、きんちょうしていました。でも私はみんな以上にきんちょうしました。ひこうきの中でもあいさつを何度も読み直したりしました。だから少しだけきんちょうがほぐれていきました。

でもみんなはバスの中でも笑顔でイキイキして「ホッ」としました。そして本番。いつも通りがんばろうと思いました。あいさつもいつもよりはきはき言えました。そしてえんぶもバッチリ！だから泣いちゃいそうだったけどみんな笑って楽屋に戻りました。

私は、それからきんちょうがいきにくけ気分が悪くなりフィナーレには出ませんでした。その時、私は観客席からみんなのすがたを見て感どうしました。

私たちにとてもいい思い出をたくさんの人のおかげでつくることができました。みなさ

んに感謝しています。

そして私たちをこんな大舞台にたたせていただきありがとうございました。